

振り返りとノート指導を生かしたまとめの充実

まとめを充実する意義

- 本時の学習内容を確実に身に付けさせることができる。
- 自己の変容や成長を自覚することにより、充実感や満足感を味わわせるとともに、次時への学習意欲を高めることができる。
- 適切な評価により、評価結果を指導に生かすことができる。



まとめのポイント

- 解決された内容を再生して確認したり、習熟の機会を設けたりしながら、内容を定着させる。(学習内容の定着)
- 今日の授業で何ができたり、身に付いたりすればよいかを明確にする。(評価)
- 自己評価や相互評価を取り入れて学習を振り返らせたり、変容をとらえる視点を明確に示し、よさや自分の成長を自覚させたりする。(振り返り)
- 発展的な内容を意図的に取り上げ、次時につなげる。(次時への意欲づけ)

まとめる内容

- ・ 分かったこと (知識・理解)
- ・ できるようになったこと (技能)
- ・ 工夫したこと (能力)
- ・ 努力したこと (意欲) 等

ノート指導のポイント

- 発達段階と教科の特質に応じて、学校の共通理解に基づいたノートづくりの基礎指導をしっかり行う。
- 板書を写すだけでなく、どこに、何を書くのか、目的に応じた紙面利用の仕方を具体的に指導する。
- 板書内容を教師が言いながら書き、それを子どもが聞いてノートに書くなど、文字を速く書く訓練をする。
- 色鉛筆やボールペン、マーカー等の使い方を決め、アクセントを考えさせる。
- 計算などは、消しゴムの使用を制限し、思考の足跡を残させる。
- 定期的にノートを点検し、よい点を賞賛し、問題点については具体的に改善点を示し励ます。



形成的評価を生かした指導と評価の一体化

- めざす児童生徒の姿を明確にした評価規準を学習過程に設定し、学習状況を多様な方法で評価する。
- 評価結果に基づいて子どもの学習を支援したり、学習活動を変更・改善したり、指導方法を改善したりする。

よさに気づかせる自己評価や相互評価

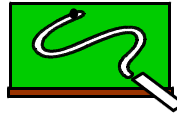
- 評価する必要性を実感させる。
- 初めは評価の観点や項目例などを示す。
- 文章で書く評価も取り入れる。
- 評価活動を肯定的に認め励ます。
- 時期と方法を計画的に設定し、継続する。

振り返りに役立つノートづくり

- ノートに記入した月日、学習課題、まとめは必ず書く。
- 板書の最重要事項の赤や重要事項の黄色等は、色分けの意味が分かるように記録する。
- 板書、自分が調べたこと、自分の考え、友だちの考えを区別して書く。
- 学習課題から解決に向かう流れを矢印で書く。
- 記号や吹き出し、イラスト、マンガなどを必要に応じて書き入れる。
- 考えや意見を裏付ける資料等を糊付けする。
- ページを打ち、目次、索引などを工夫する。

「まとめ」の充実が授業の決め手!!

< 小学校2年 算数「ひき算のひっ算」 >
 【学習活動】 $39 - 15$ の計算の仕方について考える。
 【児童の解答例】



あなたのまとめ
 はどのパターン?
 子どもに力がつく
 まとめ方はどれ?

まとめの時間
 をしっかり
 確保していま
 すか?

A児

B児

C児

D児

$$\begin{array}{r} 39 - 15 \\ \begin{array}{r} 30 \quad 9 \\ 30 - 10 = 20 \\ 9 - 5 = 4 \\ 20 + 4 = 24 \end{array} \end{array}$$

まとめの例1

練習問題をして終わる授業（特に、まとめを板書しない。）

まとめのない授業に
 なっていませんか?



まとめの例2

比較検討（集団思考）の場で、A～D児の考え方について理解を図った後で、

T：いろいろな考え方があることが分かったね。

では、今日の学習で分かったことや感想をノートにまとめましょう。

T：まとめたことを発表しましょう。

C：いろいろな考えがあって、おもしろかったです。

本時で学習した
 ことがおさえ
 られていない...

教師がまとめをせ
 ず、児童の言葉や感
 想だけのまとめで、
 終わっていることは
 ないでしょうか？



まとめの例3

A～D児の考え方について理解を図り、比較検討を行った後で、

T：Dくんの考えがいつでも簡単にできる方法だね。どれも10のまとまりとばらに分けて考えているけど、Dくんのように十の位と一の位に分けて計算するといいいね。

T：（まとめを板書）「2けた－2けたのひき算は、位ごとに分けて計算すればよい」

T：では、練習問題をやりましょう。（答え合わせをして、授業終了）

本時の課題の1問
 だけでまとめ（一般
 化）をしていること
 はありませんか？



まとめの例4

A～D児の考え方について理解を図り、比較検討を行った後で、

T：どの考えも10のまとまりとばらに分けて考えているけど、みんなが言うようにDくんの考えが簡単にできそうだね。いつでもその考えが使えるか、Dくんの考えで「 $68 - 24$ 」（類題）を解いてみよう。

C：なるほど、Dくんの考えのように十の位と一の位に分けて計算するといつでも簡単にできます。

T：（まとめを板書しながら）2けた－2けたのひき算は、

C：位ごとに分けて計算すればよい。

T：では、練習問題をやりましょう。（適用問題をする）

T：今日の学習で分かったことやよかったことをノートに書きましょう。

C：図を書くのは大変なので、これからは位ごとに分ける方法を使って計算しようと思いました。

C：はじめはブロックを使ったけど、位ごとに分けて計算する仕方が分かったの、それを使って練習問題が全部できました。

T：ところで、 $43 - 19$ のような計算はできるかな？

C：あれ？位ごとに分けただけでは計算できない・・・。（次時の課題へつなげて、授業終了）

まとめをする前に類
 題を解き、一般化を図
 りたい。また、類題を
 解くことで友達を考え
 に実際に触れ理解を深
 めさせたい。

児童の言葉を生かし
 ながらまとめを行い、
 学習内容や自分の成長
 について振り返りをさ
 せたい。

